

実践記録

学校/学年	小学校／6年	
教科等・単元名	学級活動：ネット上で知り合った人との約束は危険	
キーワード	掲示板 個人情報 コミュニケーション 伝え方	
情報モラル指導 モデルカリキュラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☐ 法の理解と遵守 ☒ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字・内容	d：情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる e：情報を正しく安全に利用することに努める
	中目標項目数字・内容	d3-1：予測される危険の内容がわかり、避ける e3-2：自他の個人情報を、第三者にもらさない
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	・ネット上で知り合ったからといって、会う約束をしたり個人情報を教えたりしてはいけないことがわかる。	
使用教材	教材名	事例で学ぶN e t モラル
	製作者	広島県教科用図書販売株式会社
	入手先（URL等）	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶN e t モラル」

○展開

	学習活動	指導 評価
導入	1 映像クリップを視聴後、ネットの情報でハムスターが元気になったときのはるかの気持ちを話し合う。	・ハムスターが元気になったときのはるかの気持ちを考える。 ・ネット活用の「光り」の部分を共感させる。
展開	2 誘いのメールで会うことに葛藤する心情を話し合う。 3 ①～④の場面ごとに望ましい対応策をそれぞれ考え、話し合う。	・誘いに乗ったはるかの気持ちを考える。 ・感謝の感情に大きく支配されてしまっていることをおさえる。 ・はるかさんはどうすればよかったか、4つの場面ごとに対応策を考える。
おわり	4 ネット上で知らない人と交流するとき、気をつけることについてまとめる。	・まとめ映像クリップを視聴し、ネット上で知らない人と交流するとき、気をつけることを考える。

○授業の成果

- ・ハムスターを助けてくれた人⇒いい人らしい、お礼が言いたい という純粋な気持ちで誘いに「はい」と答えたが、大変危険であることを学ぶことができた。
- ・ネット上で知らない人と交流するときの注意点を学習することができた。
- ・ネットの怖さがわかった。

○指導のポイント・留意点

- ・犬や猫など小動物を飼っている子ども達が多いので、場面設定が身近なこととして受け止められた。